

「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」世界遺産暫定一覧表記載 知事コメント

世界遺産の国内候補に選定されている佐渡金銀山について、本日開催された世界文化遺産特別委員会において、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」という新しい名称で、単独で世界遺産暫定一覧表に記載すべきであるとの審議結果が出されました。

平成20年9月の同委員会において佐渡金銀山は、「石見銀山遺跡とその文化的景観」との拡大・統合を図るべき資産とされましたが、この度の委員会では、佐渡単独でも「顕著な普遍的価値」をもつことが示されました。

今回の審議結果により登録に向け大きく前進するとともに、郷土の遺産が世界的価値をもつと評価されたことは、県民にとってもたいへん喜ばしい、誇るべきことであると受け止めております。

今後、国及び有識者等の指導を受けながら推薦書作成の準備を行い、できるだけ早い時期に世界遺産登録を実現させたいと考えております。